

科目名称	地域文化論	学年学期	単位数	時間数
		1年前期	1	15
担当教員	秋山 英治	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

#### 【1】 授業概要

地域医療に貢献できる人材となるために、地域の文化や風習・方言について理解し、地域の人々とよりよいコミュニケーションを取ることができるようになる。

#### 【2】 学習目標

1. 地域文化の特徴や課題について、わかりやすく説明することができる。
2. 地域の人々とよりよいコミュニケーションを取ることができる。

#### 【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

#### 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域文化をなぜ必要があるのか、その意義について学ぶ。	講義
2	愛媛の文化・風習にはどのような特徴があるのか、事例を通して学ぶ。	講義
3	愛媛に暮らす人とコミュニケーションをとる上で生じる問題を発見し、その問題に対する解決策・改善策についてグループワークをとおして考える。	講義・演習
4		
5	地域に暮らす外国人の実態について学ぶ(グループワークを行う場合もある)	講義
6	地域で暮らす外国人が抱える問題を発見し、その問題に対する解決策・改善策について、グループワークを通して考える。	講義・演習
7	今の地域社会のあり方についてグループワークを通して考える。	講義・演習
8	試験	

#### 【5】 評価方法

1. コメントシート 40%、机上レポート 60%

#### 【6】 教科書

指定なし

#### 【7】 参考書

・木藤たかお・清水史「きょうの伊予弁—伊予語学のために」2002年青葉図書  
 ・文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」  
[https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kyoiku/92484001.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html)

#### 【8】 受講生へのメッセージ

地域医療に貢献できる人材となるために、地域の文化や風習・方言について理解し、地域の人々とよりよいコミュニケーションを取ることができるよう学んでいきましょう。